

社会経済史学会中国四国部会

2018年度大会プログラム（広島大学・東千田キャンパス）

1日目：12月8日（土） 自由論題報告

（会場：東千田未来創生センター2階、M203室）

第1報告（13：15 - 13：55）：佐藤正志（摂南大学）「観光地の形成とメディア」

第2報告（14：05 - 14：40）：吉田敬洋（大阪経済大学日本経済史研究所
研究員）「中世後期イングランドにおける地域市場の変遷
- 穀物・家畜・労働市場の実態と統合過程 - 」

第3報告（14：50 - 15：25）：末田智樹（中部大学）「戦前呉服系百貨店の
接客法 - 松坂屋の店員養成と実務教育 - 」

休憩（15：25-15：45）（20分間）

第4報告（15：45-16：20）：大畑貴裕（広島大学）「占領・復興期における石炭
鉱業に対する占領政策」

第5報告（16：30-17：05）：富永憲生（広島県立大学名誉教授）「戦前期広島
県域の人口移動 - 山野村を中心に - 」

総会（17：15-17：45）（会場は、上記と同様）

懇親会（18：00-20：00）（会場は、クリップ広島〔CLiP HIROSHIMA〕の2階。
別紙の図を参照）

※ 自由論題報告の論題は、当日に変更される可能性があります。

※ 各報告の司会は、当日に会場に掲示いたします（関係者には事前連絡）。

※ 1日目の休憩室は、東千田未来創生センターM201室です。

2日目：12月9日（日） 大会シンポジウム

（会場：東千田校舎4階、402室）

テーマ：「日本の経済発展をどうとらえるか」

司会：勝部真人（広島大学）

シンポジウムの開催趣旨（9：00 - 9：05）：組織者 坂根嘉弘（広島修道大学）

第1報告（9：05 - 9：30）：製造業（非農業）部門からみた日本の経済発展
谷本雅之（東京大学）「複層的経済発展の論理—生産組織の選択の視点から」

第2報告（9：30 - 9：55）：金融・流通部門からみた日本の経済発展
高槻泰郎（神戸大学）「日本経済の歴史と金融」

第3報告（9：55 - 10：20）：農業部門からみた日本の経済発展
坂根嘉弘（広島修道大学）「日本伝統社会からみた日本の経済発展」

第4報告（10：20 - 10：45）：東アジアからみた日本の経済発展
堀和生（京都大学名誉教授）「東アジアからみた日本の経済発展」

休憩（10：45 - 10：55）

コメント1（10：55 - 11：10）：西洋経済史から
森良次（広島大学）

コメント2（11：10 - 11：25）：日本経済史から
松本俊郎（放送大学岡山学習センター）

討論（11：25 - 12：30）

※ 2日目の休憩室は、東千田校舎404室です。